

令和7年度 都立東村山高等学校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・読解力 ・自ら学ぶ力	・朝読書 ・「学びの基盤」プロジェクトによるプログラム検証と実践	・言語活動（プレゼンテーションなど）の実施 ・一人1台端末の有効活用
地理歴史及び公民	・基礎・基本的な知識の定着と主体的に生きる公民としての資質・能力を育成する。	・興味・関心を持つよう授業を工夫するとともに振り返りを行う。 ・史料や統計・地図等の諸資料を活用した授業の工夫をする。	・資料の考察をまとめたり、発表させたりする。
数学	・基礎計算力の定着 ・数学的な見方	・基礎計算の反復練習 ・問題解決の過程において、「自ら考える」、「考えを他者と共有する」活動を重視する。	・問題を解くだけではなく、その過程を理解し、他者に説明する。 ・様々な解法について研究する。
理科	・実験を用いた思考力の向上	・実験の考察を用いて、生徒一人一人の思考力を高めていく。 ・簡単な文章を作成させ、論理的思考も高める。	・実験方法も考えさせ、それが何の結果についてか調べる。
保健体育	・自ら考える指導の充実	・生徒同士のコミュニケーションや教え合いの時間を確保する。 ・毎時間の振り返りを徹底し、自分の課題を分析する。	・一人1台端末を活用し、自分の動きを客観的に分析し、改善する授業の実施
芸術	・基礎的な表現活動の習得	・年間指導計画に基づき、段階的に基礎的な表現活動を身に付けさせる。作品鑑賞や発表の場を通して、自他の価値観を認識させる。	・廊下の展示スペースや文化祭、地域の文化祭などのイベントに作品を出品したり発表したりする。作品集を制作し生徒に配布する。
外国語（英語）	・4技能の指導の充実	・各科目、パフォーマンステストを実施（各学期に2回） ・観点別評価の研修会を実施（年に2回） ・英検対策講座（スキルアップ推進校事業）の実施（放課後）	・チャットテスト等の充実 ・オンライン英会話事業を通じた4技能の着実な定着 ・大学受験等に対応できる能力の確実な定着（「聞く」、「話す」の指導の強化）
家庭	・18歳成人に向けた生活の在り方	・家庭生活の主人公として、生活の在り方を考える。 ・18歳成人を意識した、生活課題や消費者教育を行う。	・総合的な探究の時間などを活用し、外部講師などを招いて、より専門的な視点からライフプランや契約などについて知る。
情報	・「課題解決」につなげる実習の充実	・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定。 ・基本的操作の定着1つとして、毎時間タイピング練習を行い、学期に2回タイピングテストを行う。 ・Teamsを活用し、授業のまとめの配信、授業の振り返りを行う。	・タイピング練習サイトを提示しコンピュータを道具として使う練習を行う。 ・Web上で動作するアルゴリズムやプログラミングを提示し継続的に学習を行う。